

「2020 年から 2021 年へ、台湾のゆく年くる年、新政策」 歐 元韻

<ハッピー牛(ギュー)イヤー！>

新年あけましておめでとうございます。今年も台北から最新の「台湾なう」を読者の皆様方にお伝えできるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、2020 年の年末に発表された日本の今年の漢字は「密」でしたが、台湾では「疫」という漢字が選ばれました。やはり、どちらも新型コロナウイルスの影響が大きかったですね。新年は皆さんと一緒に笑顔で過ごせるよい一年となりますよう心から願っております。



【今年の台湾を示す漢字は、「疫」】
(出典：<http://www.udn.com/>)

<台湾はコロナ禍でも賃金アップ>

2021 年 1 月より、台湾政府は最低賃金を月額 2 万 4 千 NT\$ (台湾ドル・日本円で約 88,800 円)、時給は 160NT\$ (約 592 円) に引き上げました。実は台湾では、蔡英文政権が発足後、2017 年より 5 年連続、毎年、労働者の最低賃金がアップしています。

●最低賃金の推移 (2017年から2021年)

年度	月額(NT\$)	上昇率	時給(NT\$)	上昇率
2017	21,009	5%	133	10%
2018	22,000	4.72%	140	4.72%
2019	23,100	5%	150	7.14%
2020	23,800	3.03%	158	5.33%
2021	24,000	0.80%	160	1.30%

最低賃金の上昇に伴い、労工保険の比率は 11.5%に改正されました。労工保険の負担比率は下記の表のとおりです。

●2021年

	雇用主	労働者	政府
負担割合	7	2	1

* 2021年最低賃金月額24,000NT\$×11.5%=2,760NT\$

●2021年のそれぞれの負担額(NT\$)

合計	雇用主	労働者	政府
2,760	1,932	552	276

2020 年と比較すると、社員 1 名につき、雇用主は 99NT\$、労働者本人は 28NT\$、台湾政府は 14NT\$の負担増となります。

<豚肉原産地表示騒動>

私達台湾人が大好きなものに、魚のすり身の団子や豚挽き肉を使った水餃子、小籠包、排骨(豚スペアリブ)などがありますが、その豚肉について、昨年 8 月 28 日に、蔡英文総統が事前の予告なしの記者会見を開き、2021 年 1 月 1 日より飼料添加物ラクトパミンを使用した米国産の豚肉と生後 30 か月の米国産牛肉の台湾輸入解禁を発表しました。議会で議論の場を設けずに、突然政府が開放政策を発表したため、野党が疑問を呈したことは勿論、一部の地方自治体でも輸入解禁を阻止するために、ラクトパミン検出ゼロ規定を新たに定めるなど、中央政府と地方の間であつれきが生じ、さらに豚肉の輸入規制緩和反対抗議デモ活動が起きるなど、一時混乱状態になりました。



【豚肉輸入の抗議デモ】

(出典：<https://www.nownews.com/>)

政府は、輸入解禁発表時に、台湾の養豚農家保護を目的とした、100 億 NT\$ (約 370 億円) を投じた養豚産業基金会の設立を発表しましたが、具体的な内容は、設立委員会が検討中です。

台湾では「今年の漢字」の他に、2008 年より毎年、兩岸(台湾と中国本土を指す)住民共同の思いを表す漢字も発表しています。応募総数 1,520 万票から選ばれた 2020 年の漢字は「悶」でした。台湾と中国の微妙な関係、コロナウイルスによる収入減及び将来に対する不安から、この字が選ばれたようです。2021 年、丑年だけに、悶々する気持ちでも門から飛び出し、前だけを向いて闘牛のように突き進んでいきましょう！